

令和元年度岐阜県芸術文化顕彰受賞者

※五十音順

しのだ ひろみ
篠田 弘美 声楽家

- ・コンサートやリサイタルといった活動に加え、オペラやミュージカルなどの多彩な公演において主要な役を数多く演じており、邦楽伴奏で一人三役を歌い演じたり、役者との共演によるオペラ、歌と現代舞踏による二人舞台に取り組むなど、精力的な舞台活動を通して音楽文化の普及振興に尽力している。
- ・創作オペラやミュージカルでは、歌唱指導や音楽監督も担当。20年を超える歴史を誇る「ひだ・みの創作オペラ」では、開催当初よりソリストとして出演するなど現在まで続く礎を築いた。



タ ジ ミ クワイアー ジャパン
TAJIMI CHOIR JAPAN

たじみしょうねんしょうじょがっしょうだん

多治見少年少女合唱団とシニアコア

- ・平成24年に開催されたぎふ清流国体の総合開会式、平成27年に開催された全国育樹祭の式典行事などに県を代表して出演。平成29年には、スペイン・バロセロナで開催された世界合唱シンポジウムに日本を代表して出演するなど、国内外での積極的な活動により音楽文化の普及振興に尽力している。
- ・本年度で46回を数える定期演奏会を毎年開催。また、病院や福祉施設への慰問演奏、敬老会への出演、小中学校でのスクールコンサートなど地域貢献活動にも力を注いでいる。



まつもと だんじょ
松本 団女 振付師

- ・中津川市加子母、恵那市山岡、各務原市村国座、東白川村などの地歌舞伎保存会10団体で振付指導を務めており、特に平成30年10月には、フランス・パリで開催されたジャポニスム2018において、地歌舞伎を上演した加子母歌舞伎保存会の演目の演出を担当。岐阜の誇る伝統文化の世界への発信に大いに尽力した。
- ・振付指導、狂言方、ツケ打ち、義太夫、三味線、下座音楽、顔師、衣装及び床山を担い、各地域の子供歌舞伎や小学校の歌舞伎教室での指導にも熱心で、後進の指導及び地歌舞伎の伝承に貢献している。



令和元年度岐阜県芸術文化奨励受賞者

※五十音順

おおにし のぶお
大西 暢夫

写真家/映画監督

- ・フリーカメラマンとして障がいのある作家の発掘及び取材を多数手がけ、写真等での紹介や、障がい者芸術に関わる講演など、障がい者芸術支援に熱心に取り組んでいる。障がいのある方々が、様々な境遇にさらされながらも懸命に生きる姿を真摯に捉えた作品は、国内外で高い評価を受けている。
- ・映画監督としても活動しており、精神科の長期入院患者たちの心の葛藤を描いた作品を制作し、障がいのある方々への理解を求めるなど、障がい者への支援活動にも大いに尽力している。



そら さだよし
曾良 貞義

絵画作家

- ・躁うつ病を患いながらも絵画制作に熱心に取り組み、ぎふ美術展などの公募展において入賞入選の活躍をしている。シャープペンシルを使用し、1本の線で描く「one line artist」として活動し、一筆書きによる作品は、緻密さに驚かされるものが多く、その創作活動は、障がい者芸術の普及振興に大いに貢献している。
- ・活動の場は岐阜市や下呂市など県内にとどまらず、愛知県で開催される展覧会へも参加するなど、現在も意欲的に創作活動を続けている。



つぼうちしょうようはくしけんしょうかい **坪内逍遙博士顕彰会**

- ・美濃加茂市出身の坪内逍遙博士の業績を顕彰することを目的に昭和31年に設立。顕彰碑を建立し整備した「逍遙公園」の清掃活動に従事するとともに、市内の小中学生に坪内逍遙博士の業績を紹介する「しおり」を配布するなど、地域に根差した活動に取り組んでいる。
- ・坪内逍遙博士の生誕日と命日には記念事業を開催。逍遙作品の朗読劇に取り組むなど、坪内逍遙博士の文芸を伝え広める活動により地域文化の発展に大いに貢献している。



の の だ まんてる
野々田 万照

音楽家/サックス奏者

- ・プロサックス奏者として活動しながら、名古屋芸術大学の特任教授やミュージックスクールプロデューサー兼校長を務めるなど後進の育成にも熱心である。また、「クリスマスジャズ講座」「夏休みジャズ・ビッグバンド体験教室」など様々な講座で講師を務め、ジャズや音楽文化の普及活動に尽力している。
- ・NHK紅白歌合戦に出演するなど全国的に活躍する一方、市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」音楽総監督・プロデューサーとして県内でも意欲的に活動しており、地域社会への貢献度も大きい。

